

令和3年度 第4回 地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事会

【議事抄録】

1 日 時 令和3年5月27日（木）13時30分から15時10分

2 場 所 長崎みなとメディカルセンター 醫聖ホール

3 出席者 11名（欠席：調副理事長）

○理事会組織構成役員出席者数 8名

片峰理事長、門田副理事長、荒木理事、草野理事、
原理事、福崎理事、三藤理事、森理事

○監事 2名

有田監事、白石監事

○経営戦略アドバイザー 1名

廣瀬弥幸氏（リモート）

4 議事1 令和3年度 第3回理事会議事録の確定

5月13日に開催した令和3年度第3回理事会の議事録について、事務局案に対して特に異議なく承認され、確定した。

5 議事2 報告事項

1) 経営状況（4月）について

事務部長より、資料に基づき、4月の経営状況について報告が行われた。報告では4月の予算執行率と併せて、本年度末時点での現金有高についても説明が行われた。続いて、担当係長より、資料に基づき、診療の状況について報告が行われた。新規施設基準届出を行った救急救命入院料（救急体制充実加算）と手術件数の増加が増収につながっているとの説明が行われた。

2) 令和2年度決算見込みについて

担当室長より、資料に基づき、令和2年度決算見込みについて報告が行われた。令和2年度決算では黒字が見込まれることにより、累積欠損金も減少する見込み。

3) 医師の時間外労働実態（4月）について

担当理事より、資料に基づき、4月の医師の時間外労働実態について報告が行われた。「働き方改革」導入以前よりは改善しているが、やはり緊急手術による時間外が多いこと

が説明された。また、時間外削減対策の一環として、オンコールドクター3名に電子カルテ機能を有するデバイスを自宅へ持ち帰らせ、来院回数を減らす試みを行っており、効果が確認できればデバイスの台数を増やしたいとの説明が行われた。

4) 費用削減タスクフォースの令和2年度取り組み実績について

担当理事より、資料に基づき、費用削減状況について報告が行われた。タスクフォースからの経費節減の呼びかけに対し、職員一丸となって取り組んで戴いた結果、一部コロナ対策の費用が膨らんだものの、全体で約591百万円の削減見込みとなったことが説明された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。